

た家正であるに拘らず返つて來るに汝朝鮮に於る處置宜しから

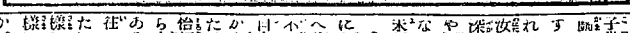
ても、**人**は**無慈悲**に生ず
て、**怒**も**人生**は**無慈悲**に生ず
て居申**契**がない云所から華
嚴經に**振ひ込む**云ふやうな煩
悶の**成**は轉じて宗教上の信
我佛聖平均面積の約二分の一に當り

此の煩悶期に際して色々のこが心の裡に現れて人間のことを極す其内に現れて来るのは感んぶ云ふ前記である大抵な人は小供の時を考へる三何かが益々やつて居る少なき時隙の庭に櫻の花が咲いてスツト枝が出で居る其處を通つて見て欲しいなと思つて小供が能く行

四の途を開いて新なる生命を得る人もある

斯ウセエ
殺命
同スムーテ
ムグダチ
ンゲ
サ
ンダリ
近附敦倫

佛國



を能く云ふ時の姿も目付こは
誰かに恥づける目付である。あれ
が發達すれば石川五右衛門も出
るのを靜して

窃盜本能云々云々云々
云々云々 此本能は人間には
なければ必らずある。私も耻を語さ
せば僕の恥に行つたことを自誤す
るの必要はないが皆さんの中に
は今目隠れて居る方もあつたか
うなくとも小供の内に盗みない位
な方云々云々の體置のない方は
なかなか云う大抵はされだりがあ
るに相違ない。夫れを心理學の
言へば矢張り一種の窃盜本能
と云ひ得るのであります。其
處本能的の隔切りは何處へ付け
るか云々云々になるこそ夫れは
面倒な問題 になるが
處が種々變遷傳代が始まつて

貴族議員 江原素六氏

精神修養の言
語の關係 四

之が問題になつて來
るのだと思ふ夫で私は少し嫌
じて厭さし夫れこそ俺は嫌
ひだ云々云々なるものを出し
て見ることが出来ぬ。夫れは食
慾であります。人間自分の生命
を維持する爲に欲ぐなれば食
慾を飽らす體置は體置の本能之
れは如何なるもので存在しやい
ふものはない。モウ一つ色慾云々
云々がある、之れ今更翻譯す
る迄ならぬと思ふ此の二の
人間の最も本能的の天性であ
ります諸君思

られなければ宜いか言はな
ければ宜かつたかい ふやうに
このないやうに平氣から注
をしなければならぬ。夫が略
一

精神修養で あります。
處に掲げてある眞實の言葉に準
て時に之を習ふのである矢張り己
の體置で成熟と思つたことは時
勢に隨んで間斷なく夫を思
出して實行する云々云々にて
面白例があります。恰度日
戦争の時に私の親類に稽古
車陣の大佐があつたが夫れ
戰死をした。其親類が稽古士
取の終方病院に入院して居た
私親類の云々であるから感
冒病に挂くことある人等
に逢ひました。其の人

ふこぎで道連れになつたが大
美しいお嬢さんや伴れて居た

らなければ働きませぬよ云
た。其處には看護婦が居たも
とあるから怎の位病人が困
み知れなかつた併し夫は大人

子供が居やうが下女が居やうと聞はずに然んな詰まらない話をするのを耳に納んで直子供がれをいふたものであるから故に女語る時に先づ損への假令察深い看護婦が居たにしても子や下女の居る前ていふものでない。夫れと何じやうなことに未だあるか、最後の人で

大層金持の 息子が東

に出る時お母さんが懇々と東

は斯うして此方に
書生に置いて、
申したいので與ふに、御目です
て御覽ひをしないのです
これは可ませぬ御目で、星様
若生を盛く持出し、要るこ
時でもつて居ます。それを臨
大將生々齡を費し、あんな
きなきで持出し、要ること
云々といふものですね云々
た成程我々人間は經濟海に
事あるけれども、子供
前へ持出しが要る探ふのは
餘計な足らないものは
詰り、先づ考へよ。華盛頓の
へことは決して間違ではない

と原先生達別席　鐵棒　少将
委員長等凌五　藤田中郎座頭
六休　再會期満時、如常子

一、圖書分類法

小
五月號
民衆雜誌
編輯部
女士の近世與志
大體一孝太郎正
中村屋

説・俱

二階すまひ宮

閑光
宮島資

白日の歌
原謙

四月。小説種叢書を編輯
小説創作評及感想 西川勉

島崎藤村先生が特に推賞せられし
小説種叢書を編輯

侯爵夫人 福永 源 短篇
小説

應化學講義

講師——東京高等工業學校教官各位

出版
新刊付
受取
題入
賣場
金の近道
先施
良書

朝鮮語會話
鴨綠江
古錢價格圖鑑
朝鮮俚諺集
朝鮮風俗集

並六十四卷
一現五十八卷
切月代廿五卷
初逸見
送共三十七卷
送共四十五卷
送共三十八卷
送共九十八卷

機械講義・建築講義・電氣工學講義
會員募集
見本進呈

大日本工業學會

1950

[illegible]

店請

大阪屋號

一町本、東

大阪屋號

自賣部
電話三三九

振替
東京二三八

△ 聯合 △ 聯合 △ 聯合

 小南
 後縣
 新明
 興謝
 造山
 佐久

里

期大月有一
日正以佛

[illegible]

© 2007 Blackwell Publishing Ltd, *Journal of Internal Medicine* 262: 103–110

中 理 代 總

京 東 店 本

邱 菲 山 操 官

絶へず正確なる時を示す



オウエルム腕巻時計を愛用す

花 服 川 燒 本 町

木談 商業會 丁白 城岡 村 加交換 是非 樂野 平商 並に 安 無水 義川 二切 あり 一九 小松 師報 生候 監參 督參 堂 散 田

This image shows a horizontal cross-section of a geological sample. It displays a variety of sedimentary textures and structures. From left to right, there are areas of fine-grained material, some with small-scale folding or lamination, and other regions with more coarse-grained or blocky textures. The overall appearance is that of a complex sedimentary sequence, possibly representing different depositional environments or stages of diagenesis.

100

又の節
通知
京本
松本
話本

電報

下
定
郵
券
ポ
ス
ポ
ス
ポ
ス

大帥

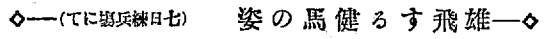
給に
受
著は
町二
最の
人選
本町
文は
左記
有至
大門
朝鮮
又
御不
山漢

乳を在病あり急入急入意入社大

商

100

ミ夫妻の縁を結び入籍同棲したである



人々の涙の淵、
 観衆は剝倒して
 第一回目
 周半

奇々怪々なる
鼠小僧事件

約手偽造の裏に某有刀者も連座し被害額廿三萬圓に作じ、益飽満に入り平順無事な客ならざるは無有誤にて其の被擄總額十三萬五千餘圓達せり云ふ。而して表面には奇々怪々な事實伏せるもの如く某有刀者、知某は本事件に連座せるもの如し巷間に本事件を鼠小僧事件と稱す。あり罕聞稀世也。

科學應用の犯罪

藥品で金額を消抹し額面を書換へる手段

學識用「犯條」の根に掛ける者が決して少くない科。云ふ語であつて其時盛んなやうである。先づ「罪名」の局に飛んで自己行爲宛分の「罰金」の所から「金額」を取出す直に品を以て金額を消抹する人へ從來の犯人は總て此

局

結局長官は局に赴きして品物を渡し「商店」に降りかゝる。或犯人が假令に移るに犯人は旅前に泊泊した朝鮮入へて來た犯人は總て此

管理所に
女判任官

朝鮮便船會社郵船に於ける現に百名以上の旅客を載るに使用し居る男子事務員及同職數なるものを電報官に使用するの途無かりしに依り女事務員が折角多年勤しが今國府より女子電報官を置き得るや制度改正の必要を認め目下女子事務員の由にて不日多分取充つ一名の女事務員は同時に電報官に隨進すべし

德洋丸損害
船員八名の外全部救助

三月三日、東京港に德洋丸に遭せる「野梨屋」に依れし「德洋丸」は沈没せるが、船客並に船員は八名、船員死せる外全部救助されし。損耗は材木約一、二千磅等なり

街上悲喜

御就寝なく又方
 権御健かに渡ら
 自ら寝はれるのである方子殿
 下御入興以來御食事は主として

[illegible]

に建てねばなるまいが
宮、神戸の三驛の去る三月中
の統計であるが一等七百十六
乗車

[illegible]

に角鐵道省では
を續けて漸次三
る共此民衆は

奇々怪々なる

鼠小僧事件

約手偽造の裏に某有刀者も連座し被害額廿三萬圓に作じ、益餘額八千入り平價賣りて金貨突者は赦さるならざるは無有誤にて其の被擄總額十三萬五千餘圓達せり云ふ。而して表面には奇怪な事伏在せるもの如く某有刀者知某本事件に連座せるもの如し巷間にて本事件を鼠小僧事件と稱す。あり罕聞電也。

科學應用の犯罪

藥品で金額を消抹し額面を書換へる手段

學識用「犯條」の根に掛ける者が決して少くない。科云ふ語であつて其時變なやうである。先づ「罪名」の局に飛んで自己行爲宛分「罰則」の名の下に「罪状」を記述する。次に「法律」を経て「受取る」直に品を以て金額を消抹する。

局

結局長官は局外を拒むとして品物を渡し「商店」に降りかかる。盗犯人が假令に移る「犯人」は旅前に捕拘した朝鮮人へ從來の犯人は總一人である。此處は明らかなる此

德洋丸損害

船員八名の外全部救助

三月三日、東京府神戶港に停泊中の德洋丸に遭へる「野蠻艦」に依れ「擄奪」せられたる「德洋丸」は救へるが「船客」に被災は八名、船員死にせる外全部救助されし損額は材木約三千五百圓、客貨二千七百圓、一七二噸等なり。

管理所に

女判任官

朝鮮「便所」を「男判」に於て現に百名以上の給務員を任用し居る男子事務員と同數なるものを「女判」に採用するの途無かりしに依り女事務員が折角多年勤しが今國庫の光沢少き感ありしが今國庫より女子「判任官」を置き得るや制度改正の必要を認め目下「省」の由にて不日多量に取充つ一名の女事務員と同時に「判任官」を贈進すべし

街上悲喜

鈴木商店麥酒部

奇々怪々なる

鼠小僧事件

約手偽造の裏に某有刀者も連座し被害額廿三萬圓に作じ、益餘額八千入り平價賣りて金貨突者は赦さるならざるは無有誤にて其の被擄總額十三萬五千餘圓達せり云ふ。而して表面には奇怪な事伏在せるもの如く某有刀者知某本事件に連座せるもの如し巷間にて本事件を鼠小僧事件と稱す。あり罕聞電也。

科學應用の犯罪

藥品で金額を消抹し額面を書換へる手段

學識用「犯條」の根に掛ける者が決して少くない。科云ふ語であつて其時變なやうである。先づ「罪名」の局に飛んで自己行爲を充分説明するに必要を要するが、此の點を以て金額を消抹するに及ぶ。先づ入つて來たる犯人は總て商人であり從來の犯人は總て商人であることは明らかなるが此

局

結局長官は局にあつて物品を渡し商店に送りかゝる。或犯人假令に移るに犯人は旅前に泊つたところ朝鮮に入つて來たる犯人は總て商人であることは明らかなるが此

**管理所に
女判任官**

朝鮮警察廳官吏の取締に於て現に百名以上の女警員を任用し居る男子事務員と同數なることを報告官に使用するの途無かりしに依り女務員が折角多年勤しがその報謝の光り少き感ありしが今同國女子判任官を置き得るや制度改正の必要を認め目下警察の由にて不日多分撤除し先づ一名の女事務員と同時に轉任を願進すべし

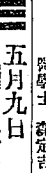
德洋丸損害

船員八名の外全部救助

三月三日、東京府神戶港に德洋丸に遭せる「野蠻艦」に依れし被害を德津丸は救へるが、船客並に船員は八名、船員死せる外全部救助されし損額は材木約三千五百噸、客貨二千七百噸、一七二噸等なり

街上悲喜

[illegible]

[illegible]

君▲誘惑さるゝ日舊事妨
宇宙的と出でて損失を免

長上の意見を用ゐて利ある
▲世話のし甲斐なき日

日にして氣長く辛抱が第

日▲衰運の日新しさ 企

店行商其他求職披露結婚

黒▲手に逆失なくとも東
れ易き不運の日慎みが肝

後城
仁

戰國策
卷之四
日地
川

100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527
 528
 529
 530
 531
 532
 533
 534
 535
 536
 537
 538
 539
 540
 541
 542
 543
 544
 545
 546
 547
 548
 549
 550
 551
 552
 553
 554
 555
 556
 557
 558
 559
 560
 561
 562
 563
 564
 565
 566
 567
 568
 569
 570
 571
 572
 573
 574
 575
 576
 577
 578
 579
 580
 581
 582
 583
 584
 585
 586
 587
 588
 589
 590
 591
 592
 593
 594
 595
 596
 597
 598
 599
 600
 601
 602
 603
 604
 605
 606
 607
 608
 609
 610
 611

貴女のお
顔はまだ
まだ美し
く成ます



をお用ひになれば

お化粧の順序

化粧水

乳液

クリーム

パウダー

ファンデーション

口紅

眉筆

美人

あの方かたも

この方かたも

福助夏足袋

挿 國
話 助

め始の寝走

時でありました。夏足袋も亦此時代に流行し初めましたので、八代將軍吉宗公の時代には人心極めて嗜み深く、夏季に於て涼なる衣の足許が腫汗や埃に汚れたり、寒足の日に焼けて見苦なるのを厭ふていづれも夏足袋を用ひ初めたのであります。

社會式株袋足助福
 市日田大駐米
 町三三町米道市道大
 路小三町米道市道大
 町野多持市日處 所須用

七十五に下笠山及び平
 上^{ハナ}上^ノ山^ノ同^ノ向^ノ方^ノ
 亦平均一日間十通に
 上^{ハナ}上^ノ山^ノ同^ノ向^ノ方^ノ
 亦平均一日間十通に
 上^{ハナ}上^ノ山^ノ同^ノ向^ノ方^ノ
 亦平均一日間十通に

